八　幡　平　市

農と輝の大地

ともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市

八幡平ドラゴンアイ（鏡沼）

八幡平市長　佐々木　孝弘
所 在 地　〒028-7397
八幡平市野駄21-170
T E L　(0195) 74-2111
F A X　(0195) 74-2102
U R L　https://www.city.hachimantai.lg.jp/

■市　章■
八幡平市の「八」をモチーフとした青空に太陽が光り輝き、その下には市を象徴する３つの山（岩手山・八幡平・安比高原）と、裾野に広がる豊かな大地を配し、交流拠点・八幡平市の発展を表現しています。

■人　口■　23,179人
■世帯数■　10,787世帯
■面　積■　862.30㎢
（令和6年12月末現在）

八幡平市は、県都盛岡市の北西約30kmに位置し、東西は約25km、南北は約45kmの市域を持ち、東は二戸市・一戸町・岩手町と、南は盛岡市・滝沢市・雫石町と、西は秋田県鹿角市・仙北市と、北は青森県田子町とそれぞれ接しています。

就業人口は、令和2年国勢調査で12,755人となっており、第1次産業は2,871人（22.5%）、第2次産業は3,163人（24.8%）、第3次産業は6,721人（52.7%）となっています。

古くから、秋田県へ通じる鹿角街道が縦貫し、現在では東北自動車道・八戸自動車道と国道282号、さらにＪＲ花輪線が縦貫しており、基礎的な交通基盤が整った地域であるとともに、秋田県や青森県を含めた北東北３県でみた場合、八幡平市はこの３県のほぼ中心に位置しています。

八幡平市の南端には岩手山がそびえ、西部地域は八幡平をはじめとする奥羽山脈の山々が南北に連なり、中央部には安比高原、また、前森山、七時雨山、田代山などの山々が横断しています。

これらの山々を源として、八幡平市は大きく３つの水系に分けられます。

南東部は北上川水系に属する松川、赤川、涼川、長川が集まって、肥沃な盆地を形成し、農業をはじめとする産業が活発に展開されています。

中央部から北東部は馬渕川水系最大の支流、安比川が太平洋に注ぎ、北西部は米代川が日本海に注いでおり、川沿いに平坦地が開け、集落を形成しています。

八幡平市は、広大な面積を有しており、南東部は太平洋側気候、北西部は日本海側気候の影響を受け、夏冬の寒暖の差が大きく、夏の降水量は比較的少ないですが、冬の降雪量が多い地域となっています。

交　　通　JR花輪線（東大更、大更、平館、北森、松尾八幡平、安比高原、赤坂田、小屋の畑、荒屋新町、横間、田山、兄畑）東北自動車道（西根IC、松尾八幡平IC、安代IC）
観　　光　十和田八幡平国立公園、岩手山焼走り熔岩流、安比高原
特 産 品　西根ほうれんそう、安代りんどう、八幡平牛、安比塗漆器、地熱蒸気染色
イベント　八幡平ふるさと花火まつり（8月15日）、八幡平山賊まつり（10月上旬）
主な誘致企業　積水メディカル㈱岩手工場、㈱ニュートン、西根工業㈱、八幡平電機㈱、ザマ・ジャパン㈱、シミックCMO㈱西根工場、㈱ダイヤプレス岩手工場、㈱住宅工業岩手工場